

財団法人 日本サッカー協会
平成 19 年度 第 7 回理事会

報告事項

1.	TOYOTA プレゼンツ F I F Aクラブワールドカップ ジャパン 2 0 0 7 の件														
<p>I. J F A組織体制</p> <p style="color: blue; font-weight: bold;">※ (報告) 資料No.1</p> <p>II. ベニユー本部体制</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ベニユーコーディネーター</td> <td style="width: 20%;">貝瀬智洋</td> <td style="width: 30%;">東京</td> </tr> <tr> <td></td> <td>野上宏志</td> <td>豊田・横浜</td> </tr> <tr> <td>アシスタントベニユーコーディネーター</td> <td>中村 聡</td> <td>東京</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上杉理夫</td> <td>豊田・横浜</td> </tr> </table> <p>III. 2 0 0 8 年大会以降の開催</p> <p>10 月 29 日 (月)・30 日 (火) にチューリヒにて開催された FIFA 理事会において、下記の内容が決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2 0 0 8 年大会は日本で開催する。 ▶ 2 0 0 9 年・2 0 1 0 年大会の開催については招致入札を受け付ける。 				ベニユーコーディネーター	貝瀬智洋	東京		野上宏志	豊田・横浜	アシスタントベニユーコーディネーター	中村 聡	東京		上杉理夫	豊田・横浜
ベニユーコーディネーター	貝瀬智洋	東京													
	野上宏志	豊田・横浜													
アシスタントベニユーコーディネーター	中村 聡	東京													
	上杉理夫	豊田・横浜													
2.	AFC プロリーグプロジェクトの件)														
<p><u>I. インспекションについて (21ヶ国終了予定)</u></p> <p>1. インドネシア協会</p> <p style="padding-left: 20px;">期 間：2007 年 10 月 16 日 (火) ～10 月 19 日 (金)</p> <p style="padding-left: 20px;">出張者：鈴木 キャプテン特命担当本部長</p> <p style="padding-left: 40px;">加藤 キャプテン特命担当本部係長</p> <p>2. タイ協会</p> <p style="padding-left: 20px;">期 間：2007 年 10 月 19 日 (金) ～10 月 25 日 (木)</p> <p style="padding-left: 20px;">出張者：鈴木 キャプテン特命担当本部長</p> <p style="padding-left: 40px;">川埜 キャプテン特命担当本部部員</p> <p>3. カタール協会</p> <p style="padding-left: 20px;">期 間：2007 年 10 月 25 日 (木) ～10 月 29 日 (月)</p>															

出張者：鈴木 キャプテン特命担当本部長
川埜 キャプテン特命担当本部部員
※カタールにて、イラク協会会長 Mr. Mohammed Saeed
Hussainとのミーティング実施。

4. クウェート協会

期 間：2007年10月29日（月）～11月3日（土）

出張者：鈴木 キャプテン特命担当本部長

川埜 キャプテン特命担当本部部員

5. インド協会（予定）

期 間：2007年11月3日（土）～11月9日（金）

出張者：鈴木 キャプテン特命担当本部長

斎藤聡 キャプテン特命担当本部部員

3. F I F A理事会 報告の件

10月29日・30日にF I F A理事会がスイスにて開催された。主な決定事項は以下の通り。

1. 2014 F I F Aワールドカップ™ 開催国

開催国がブラジルに決定(候補はブラジルのみ)。

2. 2011 F I F A女子ワールドカップ 開催国

開催国がドイツに決定。

3. F I F Aフットサル ワールドカップ 参加協会数

2008年大会（開催国＝ブラジル）から参加協会数が16から20に追加され、各大陸枠は次の通り。

A F C : 4（従来は3）、C A F : 2、C O N C A C A F : 3、C O M E B O L : 3、

O F C : 1、U E F A : 6、ホスト国 : 1

4. F I F Aビーチサッカーワールドカップ 開催国

2008年大会の開催国がフランス／マルセイユに決定。

2009年大会はU A E / ドバイにて開催する。

5. 2008年 F I F A主催大会 日程

各種大会の日程が下記の通り承認された。

F I F A U-17 女子ワールドカップ : 10月30日～11月16日

F I F A U-20 女子ワールドカップ : 11月20日～12月7日

F I F Aフットサル ワールドカップ : 10月4日～10月19日

F I F Aビーチサッカーワールドカップ : 7月17日～7月27日

6. FIFA ワールドカップ™ ホスト国 大陸ローテーション方式

ホスト国の大陸ごとローテーション方式（2000年に導入）を2018年大会以降廃止することを決定。ただし前2大会のホスト協会が所属する大陸連盟（CAF・COMEBOL）は2018年大会を招致できない。FIFA規約は2008年FIFA総会で修正する。

7. 2010 FIFAワールドカップ 南アフリカ™

決勝大会の参加協会の購入可能チケット割り当てについて、グループステージは8%から12%に増加する（ノックアウトステージは8%のまま）。

FIFAはチケット販売の責任を再び引き受け“2010FIFAワールドカップチケットティングLtd”という会社を設立する。

また資格・認可を受けた会社がチケットと旅行の組み合わせパッケージを提供することを可能にすべく、旅行業者のためのプログラムを立ち上げる予定。

8. 協会委員会からの処分

協会の事柄に対し政府の干渉を受け、規約に違反し、さらにFIFA理事会の決定事項を遵守しなかったクウェートサッカー協会を、次の通知を出すまでの期間あらゆる国際サッカー活動から即刻除外する処分を下した。イラン、ペルー、中央アフリカ共和国サッカー協会も状況が改善しない場合資格停止処分となる可能性がある。

9. 各種規則の承認

2007年5月30日・31日にチューリヒで開催されたFIFA総会での各種決定事項に従い、クラブライセンス規則、選手エージェント規則改訂版、選手の地位及び移籍に関する規則の改定を含む各種規則を承認。新しい条項には選手の地位に関する過去の事例で適用された法および第三者が移籍に関与することを新たに禁止する条項が含まれる。

10. 「グラナダ74」問題

スペインのクラブ「グラナダ74」のような事例の再発防止のために、クラブが上のディビジョンに昇格できるか否かは競技力に基づいた結果のみによって決定されることを確実にするために、FIFA規約適用規則の新条項を制定。条文の正確な文言は次回理事会に提出され、FIFA総会にて承認を受ける予定。（クラブ買収等の手段によって、クラブが上位のリーグに実質的に昇格、参入することを規制するため。）

11. FIFAクラブワールドカップ

2007年大会の合計賞金1600万米ドルのうち、優勝チームに500万米ドルを授与。

同大会が2008年に再び日本で開催されること、2009年および2010年大会はオープンビッドで開催国を決めることを決定。

2007年大会でアディダスおよびカイロス社によるチップ埋め込み式ゴールラインテクノロジーを新たに試行する。国際サッカー評議会は、2007年10月22日にグラスゴーで開催された年次総会にてこれらの試みを承認した。ただし、同評議会は同大会にて2名の追加副審

を試験的に採用するとの提案は棄却した。

1 2. 審判員育成

審判員への高まる需要に応じるべくレフェリングを専門的地位に向上させ、審判員組織を協会組織に組み込む必要性を再び強調した。2010 年大会に向けた有望な審判員の準備プログラム及び協会レベルでの審判育成プログラムからなる 2 大プランを承認した。このプログラムには、3,750 万米ドルが投入される予定。

1 3. F I F A 財政

2007～2010 年度の F I F A の 4 年間予算が収益の増加および活動や責務の拡大を受けて調整された。新しい予算によると収益は 32 億米ドル、支出が 29 億 6 千万米ドル。改定予算を受け、F I F A は 2010 年までに 8 億米ドルの資産の増加を見込む。新たな概算は 2008 年 F I F A 総会に提出され、承認を受ける予定。

1 4. 高地および極限的な状況におけるサッカー

高地および極限的な状況におけるサッカーに関する医学専門家による第 1 回会議の報告を受けた。F I F A スポーツ医学委員会は、2007 年 11 月 2 日にチューリヒで開催される会議での決定に基づいた合意文書を作成し、2007 年 12 月 15 日に東京で行われる理事会会議に提出する予定。

1 5. その他

- 協会標準選挙規程、協会と政府機関との標準協力協定、各国の紛争調停室の標準規則ならびに F I F A 移籍マッチングシステム GmbH という名称の会社の設立を承認した。この会社の設立目的は、国際移籍の比較を行い、未成年者の選手エージェントなどによる不正や選手移籍におけるマネーロンダリングを防止することである。
- 戦略委員会の報告および各種ワーキンググループの設置ならびに構成に満足を示した。
- コーポレート・ガバナンスを強化してコンプライアンス原則を順守すべく、理事会は F I F A 内部運営規則改訂版を可決した。
- 第 58 回 F I F A 総会は 2008 年 5 月 29 日および 30 日にシドニーで開催される。ベニューが未定となっている今後の総会（2009 年、2012 年、2013 年）のベニュー候補を募る予定。2010 年総会はヨハネスブルクで、2011 年総会はスイスで開催予定である。

4. 日本人指導者海外派遣の件

ミャンマーサッカー連盟からの要望を受け、アジア貢献事業の一環として、フットサル・ミャンマー代表チームの監督として派遣した前川義信氏について、ミャンマーの治安悪化に伴い、一時帰国させた上で現地的情勢を見守ることとした。

その後、外務省・在ミャンマー大使館等からの情報等も踏まえ、ミャンマーの治安が回復しつつあることから、11 月 4 日に再度前川氏をミャンマーに派遣する。

なお再派遣にあたっては、外務省／在ミャンマー日本大使館への便宜供与依頼・ミャンマーサッカー連盟への安全確保依頼等により、前川氏の安全確保に充分留意する。

[派遣契約期間] 2007年9月17日～2007年12月22日 ※9月理事会にて承認済み

[経過]

9月上旬 ミャンマー国内でデモ発生
外務省・在ミャンマー日本大使館・ミャンマーサッカー連盟等から情報収集

9月25日 ヤンゴン市内 夜間外出禁止令 発令

9月27日 外務省渡航情報（危険情報）のレベル引き上げ

9月30日 前川氏 一時帰国

10月20日 ヤンゴン市内 夜間外出禁止令 解除

10月26日 外務省渡航情報（危険情報）のレベル引き下げ

11月4日 前川氏 再渡航

5. 大会役員・審判員 国際試合派遣の件

- ① AFC CUP 2007 – FINAL 1stleg
シャバブ・アル・オールドウン（ヨルダン）対アル・ファイサリ（ヨルダン）
アセッサー：高田 静夫
期 間：11月7日（水）～10日（土）
場 所：ヨルダン
- ② The last four rounds of Chinese Super League
審判員：東城 穰
期 間：10月29日（月）～11月16日（金）
場 所：中国
- ③ AFC CUP 2007 – FINAL 1stleg
シャバブ・アル・オールドウン（ヨルダン）対アル・ファイサリ（ヨルダン）
審判員：西村 雄一、相楽 亨、名木 利幸
期 間：10月31日（水）～11月3日（土）
場 所：ヨルダン
- ④ Men's Olympic Football Tournament Beijing 2008 – AFC Preliminary Competition
シリア対ウズベキスタン
審判員：高山 啓義、廣嶋 禎数、山崎 裕彦
期 間：11月19日（月）～11月22日（木）
場 所：シリア
- ⑤ Men's Olympic Football Tournament Beijing 2008 – AFC Preliminary Competition
オーストラリア vs イラク
マッチコミッショナー： 野上 宏志

試合日： 11月17日(土)
場 所： オーストラリア

6. 日本サッカーミュージアムの件

入場者数報告

10月1,982人(76.2人/1日)
2006年実績 1,324人(94.6人/1日)
2005年実績 3,235人(124.4人/1日)
2004年実績 2,611人(96.7人/1日)
※ 2003年12月に開館

7. 名義使用申請の件

(1) 申請団体：びあ(株)

事業名：びあトークバトル スポーツ快樂主義2007
～どうなる！？FIFAクラブワールドカップ ジャパン 2007～(仮称)

主 催：びあ(株)

特別協賛：未定

協 賛：未定

協 力：日本テレビ放送網(株)、(財)日本サッカー協会

開催日：2007年11月28日(水)

時 間：19:00～21:00

会 場：日本サッカーミュージアム 1階「ヴァーチャルスタジアム」

事業内容：12月17日(金)に開幕する「TOYOTAプレゼンツFIFAクラブワールドカップジャパン2007」を控え、出場チーム7チームの戦略分析や注目の一戦、注目選手、優勝予想を中心に、日本テレビサッカー解説陣がFCWCを語りつくす。

また、来場のお客様からの質問コーナー、プレゼントコーナー等織り交ぜ、お客様の満足度を高めることを目的とする。

ゲスト：武田 修宏 (財)日本サッカー協会 アンバサダー
北澤 豪 (財)日本サッカー協会 国際委員

8. 海外遠征申請の件

(1)(財)東京都サッカー協会

チ ャーム 東京都専門学校サッカー連盟選抜チーム (第1種)

遠征期間 2007年11月16日(金)～19日(月)

遠 征 先 韓国 ソウル

(2)(財)静岡県サッカー協会

チー ム 藤枝明誠高等学校サッカー部 (第2種)

遠征期間 2007年12月22日(土)～24日(月)

遠 征 先 中国 上海

(3)(社)大阪府サッカー協会

チー ム 河内長野市選抜 (第4種)

遠征期間 2007年12月21日(金)～24日(月)

遠 征 先 韓国 ソウル

(4)(社)大阪府サッカー協会

チー ム 大阪府トレセンU-12 (第4種)

遠征期間 2007年11月1日(木)～7日(水)

遠 征 先 韓国 南海郡

9. 日本代表 AFC アジア/アフリカチャレンジカップ 2007 の件

行事名：日本代表 AFC アジア/アフリカチャレンジカップ 2007 エジプト戦

期 間：2007年10月14日(日)～10月17日(水)

場 所：大阪府

[スケジュール]

10月14日(日) 集合・トレーニング

| トレーニング

17日(水) 19:30 大阪長居スタジアム vs エジプト代表

試合終了後解散

[スタッフ]

監 督 : イビチャ オシム ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 大熊 清 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 小倉 勉 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

GKコーチ : 加藤 好男 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

テクニカルスタッフ : 和田 一郎 ((財)日本サッカー協会)

ドクター : 清水 邦明 (横浜市スポーツ医科学センター)

アスレティックトレーナー : 早川 直樹 ((財)日本サッカー協会)

アスレティックトレーナー : 前田 弘 ((財)日本サッカー協会)

アスレティックトレーナー : 池内 誠 (フリー)

通訳 : 千田 善 ((財)日本サッカー協会)

統括 : 加藤 彰恒 ((財)日本サッカー協会代表チーム部部长)

総務 : 津村 尚樹 ((財)日本サッカー協会代表チーム部)

メディアオフィサー : 永松 太 ((財)日本サッカー協会広報部)
 宿泊・輸送 : 瀧森 誠 (西鉄旅行(株))
 キットマネージャー : 山根 威信 (アディダスジャパン(株))
 キットスタッフ : 麻生 英雄 (アディダスジャパン(株))

[選手]

GK 川口 能活 (シユビロ磐田)
 檜崎 正剛 (名古屋グランパスエイト)
 川島 永嗣 (川崎フロンターレ)
 DF 中澤 佑二 (横浜F・マリノス)
 坪井 慶介 (浦和レッドダイヤモンズ)
 加地 亮 (ガンバ大阪)
 駒野 友一 (サンフレッチェ広島)
 阿部 勇樹 (浦和レッドダイヤモンズ)
 今野 泰幸 (FC東京)
 MF 橋本 英郎 (ガンバ大阪)
 遠藤 保仁 (ガンバ大阪)
 中村 憲剛 (川崎フロンターレ)
 鈴木 啓太 (浦和レッドダイヤモンズ)
 山瀬 功治 (横浜F・マリノス)
 山岸 智 (シエフユナイテッド市原・千葉)
 藤本 淳吾 (清水エスパルス)
 FW 播戸 竜二 (ガンバ大阪)
 巻 誠一郎 (シエフユナイテッド市原・千葉)
 前田 遼一 (シユビロ磐田)
 大久保 嘉人 (ヴィッセル神戸)
 矢野 貴章 (アルビレックス新潟)

以上 21 名

10. U-22 日本代表候補トレーニングキャンプの件

行事名 : U-22 日本代表候補トレーニングキャンプ
 期 間 : 2007 年 11 月 6 日(火)~11 月 7 日(水)
 場 所 : 千葉県

[スケジュール]

11月6日(火) 集合、トレーニング

7日(水) トレーニングマッチ 対 順天堂大学

[スタッフ]

監督 : 反町 康治 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 コーチ : 井原 正巳 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 コーチ : 江尻 篤彦 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ/アルビレックス新潟)
 フィジカルコーチ : 矢野 由治 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 GKコーチ : 川俣 則幸 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 ドクター : 加藤 晴康 (聖マリアンナ医科大学)
 アスレティックトレーナー : 並木磨去光 ((財)日本サッカー協会/スポーツマッサージナター)
 アスレティックトレーナー : 山崎 亨 ((財)日本サッカー協会/横浜リゾート&スポーツ専門学校)
 総務 : 平井 徹 ((財)日本サッカー協会代表チーム部)
 メディアオフィサー : 福士一郎太 ((財)日本サッカー協会広報部)
 テクニカルスタッフ : 菅原 大介 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)
 キットマネージャー : 服部 智博 (アディダスジャパン(株))

[選手]

未定

11. U-22 日本代表北京オリンピック 2008 アジア最終予選の件

1) 行事名 : U-22 日本代表北京オリンピック 2008 アジア最終予選 ベトナム戦 (アウェイ)

期 間 : 2007年11月12日(月)~11月18日(日)

場 所 : 東京都

[スケジュール]

11月12日(月) 集合後トレーニング、ベトナムへ向け出発

13日(火) トレーニング

14日(水) トレーニング

15日(木) トレーニング

16日(金) 公式練習

17日(土) 19:15 MyDinh Stadium vs U-22 ベトナム代表

試合終了後、チャーター機にて帰国

[スタッフ]

団 長 : 大仁 邦彌 ((財)日本サッカー協会副会長)
 監 督 : 反町 康治 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 井原 正巳 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 コーチ : 江尻 篤彦 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ/アルビレックス新潟)
 フィジカルコーチ : 矢野 由治 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 GKコーチ : 川俣 則幸 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 ドクター : 土屋 敢 (川鉄千葉病院)
 アスレティックトレーナー : 並木磨去光 ((財)日本サッカー協会/スポーツマッサージナスター)
 アスレティックトレーナー : 山崎 亨 ((財)日本サッカー協会/横浜リゾート&スポーツ専門学校)
 総務 : 平井 徹 ((財)日本サッカー協会代表チーム部)
 メディアオフィサー : 福士一郎太 ((財)日本サッカー協会広報部)
 テクニカルスタッフ : 菅原 大介 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)
 キットマネージャー : 服部 智博 (アティダスジャパン(株))
 輸送担当 : 瀧森 誠 (西鉄旅行(株))

[選手]

未定

2) 行事名 : U-22 日本代表北京オリンピック 2008 アジア最終予選 サウジアラビア戦 (ホーム)

期 間 : 2007 年 11 月 18 日(日)～11 月 21 日(水)

場 所 : 東京

[スケジュール]

11 月 18 日(日) 帰国後、トレーニング

19 日(月) トレーニング

20 日(火) 公式練習

21 日(月) 19:20 国立競技場 vs U-22 サウジアラビア代表

試合終了後、解散

[スタッフ]

監督 : 反町 康治 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 コーチ : 井原 正巳 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 コーチ : 江尻 篤彦 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ/アルビレックス新潟)
 フィジカルコーチ : 矢野 由治 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 GKコーチ : 川俣 則幸 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 ドクター : 土屋 敢 (川鉄千葉病院)
 アスレティックトレーナー : 並木磨去光 ((財)日本サッカー協会/スポーツマッサージナスター)
 アスレティックトレーナー : 山崎 亨 ((財)日本サッカー協会/横浜リゾート&スポーツ専門学校)
 総務 : 平井 徹 ((財)日本サッカー協会代表チーム部)
 メディアオフィサー : 福士一郎太 ((財)日本サッカー協会広報部)
 テクニカルスタッフ : 菅原 大介 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)

キットマネージャー : 服部 智博 (アディダスジャパン(株))
 輸送担当 : 瀧森 誠 (西鉄旅行(株))

[選手]
 未 定

12. U-18 日本代表(U-20ワールドカップ 2009) AFCU-19 選手権大会 2007 予選ラウンドの件

行事名 : U-18 日本代表 AFCU-19 選手権大会 2007 予選ラウンドグループ E
 期 間 : 2007 年 10 月 28 日(日)~11 月 19 日(月)
 場 所 : 十日町/新潟県・バンコク/タイ

[スケジュール](予定)

10 月 28 日(月) 集合 国内キャンプ 十日町
 | トレーニング

11 月 2 日(金) バンコクへ移動

6 日(火) vs チャイニーズタイペイ Supachalasai Stadium

8 日(木) vs モルジブ Supachalasai Stadium

12 日(月) vs ミャンマー Supachalasai Stadium

14 日(水) vs ラオス Supachalasai Stadium m

18 日(日) vs タイ Thai Japanese Stadium

日本へ移動

19 日(月) 日本着

[スタッフ]

監 督 : 牧内 辰也 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 大熊 裕司 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

GKコーチ : 慶越 雄二 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

ドクター : 根塚 武 (西能病院)

アスレティックトレーナー : 金成仙太郎 (国際スポーツ医科学研究所)

総務 : 青木 克史 ((財)日本サッカー協会代表チーム部)

キットマネージャー : 麻生 英雄 (アディダスジャパン(株))

テクニカルスタッフ : 橋野 威 (筑波大学大学院)

[選手]

GK 松本 拓也 (順天堂大学)

権田 修一 (FC 東京)

大谷 幸輝 (浦和レッズダイモンズユース)

DF 堀田 秀平 (柏レイソルU-18)

中田健太郎 (名古屋グランパスエイトU-18)

	須崎 恭平	(シユビロ磐田ユース)
	椋原 健太	(FC 東京 U-18)
	大野 和成	(アルビレックス新潟ユース)
	鈴木 大輔	(星稜高校)
	金井 貢史	(横浜 F・マリノスユース)
MF	金崎 夢生	(大分トリニータ)
	香川 真司	(セレッソ大阪)
	鈴木 惇	(アビスパ 福岡 U-18)
	山本 康裕	(シユビロ磐田ユース)
	柿谷曜一朗	(セレッソ大阪)
	水沼 宏太	(横浜 F・マリノスユース)
	比嘉 公平	(柏レイソルU-18)
	岡本 知剛	(サンフレッチェ広島 F.Cユース)
FW	永井 謙佑	(福岡大学)
	山崎 亮平	(シユビロ磐田)
	大山 恭平	(アビスパ 福岡 U-18)
	白谷 建人	(長崎県立国見高校)
	宮澤 裕樹	(室蘭大谷高校)

計 23 名

13. U-16 日本女子代表(U-17 女子ワールドカップ 2008)トレーニングキャンプの件

行事名：U-16 日本女子代表(U-17 ワールドカップ 2008)トレーニングキャンプ

期 間：2007 年 11 月 23 日(金・祝)～11 月 28 日(水)

場 所：静岡県磐田市

[スケジュール]

11 月 23 日(金・祝) 集合

| トレーニング

11 月 28 日(水) 解散

[スタッフ]

監督	：	吉田 弘	((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
コーチ	：	坂尾 美穂	((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ/JFAアカデミー福島)
GKコーチ	：	川島 透	((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
ドクター	：	小松 奈美	((財)弘潤会 野崎東病院)
アスレティックトレーナー	：	中堀 千香子	(J F Aアカデミー福島)
総務	：	山田 薫	((財)日本サッカー協会 代表チーム部)

[選手]

未定

14. フットサル日本女子代表アジアインドアゲームスの件

行事名：第2回アジアインドアゲームス（2007/マカオ）

期 間：2007年10月22日(月)～11月4日(日)

場 所：マカオ

[スケジュール]

10月22日(月) 集合

10月23日(火) 09:55出発 JL731 (13:30 香港到着) 17:00マカオ到着

10月24日(水) トレーニング

10月25日(木) トレーニング

10月26日(金) トレーニング

10月27日(土) 17:00グループリーグ第1戦 vs タイ代表

10月28日(日) 10:00グループリーグ第2戦 vs イラン代表

10月29日(月) 15:00グループリーグ第3戦 vs マレーシア代表

10月30日(火) トレーニング(順位決定戦)

10月31日(水) トレーニング(順位決定戦)

11月1日(木) トレーニング(順位決定戦)

11月2日(金) 準決勝

11月3日(土) 決勝/3位決定戦

11月4日(日) 14:55JL732(20:10 成田到着)

[スタッフ]

監督 : 中村 恭平 ((財)日本サッカー協会 フットサル委員)

コーチ : 石森 由紀 (東京都フットサル連盟事務局)

[選手]

GK 本多 さかえ (Bardral 浦安 Las Bonitas)

森 知美 (ASV PESCADOLA BAILARINAS)

FP 内山 環 (Bardral 浦安 Las Bonitas)

芳本 有紀子 (NICO COLORS)

高橋 唯 (うー魚)

稲田 高子 (NICO COLORS)

藤田 安澄 (FSF Mostoles(スペイン))

長島 舞 (NICO COLORS)

宮川 亮子 (Amaralo 峰FC)

榎 寛美 (PARAREDS FUTSAL setagaya)
 篠原 志穂子 (大原学園)
 岩崎 夏美 (ASV PESCADOLA BAILARINAS)
 中島 詩織 (FUN Ladies)

以上 13 名

15. U-18/U-15 GK トレーニングキャンプの件

行事名 : U-18/U-15 GK トレーニングキャンプ

期 間 : 2007 年 10 月 19 日(金)～10 月 21 日(日)

場 所 : J ヴィレッジ

[スケジュール]

10 月 19 日(金) 集合・トレーニング

10 月 20 日(土) トレーニング

10 月 21 日(日) 解散

[スタッフ]

GKコーチ : 加藤 好男 ((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)

GKコーチ : 井上 祐 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ/山形県立鶴岡中央高等学校)

GKコーチ : 藤原 寿徳 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ/鹿島アントラーズ)

GKコーチ : 浅野 寛文 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ/FC 東京)

GKコーチ : 伊藤 裕二 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ/名古屋グランパスエイト)

GKコーチ : 加藤 寿一 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ/サンフレッチェ広島)

GKコーチ : 岩永 健 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ/佐世保市立早岐中学校)

ドクター : 辰村 正紀 (筑波大学大学院)

テクニカルサポート : 橘 和徳 (筑波大学)

テクニカルサポート : 佐藤 誠一郎(筑波大学)

総務 : 島田 信男 ((財)日本サッカー協会 技術部)

[選手]

U-18

赤堀 勇太 (ジュービロ磐田ユース)

原 裕太郎 (サンフレッチェ広島 F.C ユース)

松本 実 (高知高等学校/高知県)

曳地 裕哉 (コンサドーレ札幌ユースU-18)

石森 慎也 (盛岡商業高等学校/盛岡県)

清木 穰 (如水館高等学校/広島県)

大森 圭悟 (サンフレッチェ広島 F.C ユース)

川浪 吾郎 (柏レイクル U-18)
 中西 竜兵 (東海大学付属第五高等学校／福岡県)
 奥山 陸 (川崎フロンターレU-18)
 八木 直生 (鹿島アントラーズユース)

U-15

キローラン菜入 (東京ヴェルディ1969ジュニアユース)
 村下 達郎 (京都サンガ F.C. U-15)
 松原 修平 (コンサドーレ札幌ユースU-15)
 渡辺 泰広 (アルビレックス新潟ジュニアユース)
 久保田 晃次 (CANジュビロ沼津／静岡県)
 櫛引 政敏 (青森山田中学校／青森県)
 伊藤 悠稀 (名古屋グランパスエイトU-15)
 田尻 健 (ガンバ大阪ジュニアユース)
 鈴木 椋大 (名古屋グランパスエイト三好 FC)
 岩脇 力哉 (FC 四日市／三重県)

計 21 名

16. 競技会開催申請の件

(1) 申請団体：(社)高知県サッカー協会

大会名：2008 トリムカップレディーズフットサル大会

主催：(社)高知県サッカー協会

主管：高知県フットサル連盟

後援：高知県、高知市、南国市、高知県教育委員会、(財)高知県体育協会

期 日：2008年3月28日(金)～3月30日(日)

会 場：南国市立スポーツセンター

参加チーム：18チーム(関西6、中国5、四国3、九州2、開催地2)

試合の種類：無料試合

(2) 申請団体：(社)鹿児島県サッカー協会

大会名：2007年度南日本招待ユースサッカー大会

主催：(社)鹿児島県サッカー協会

主管：鹿児島県サッカー協会高校連盟

後援：(申請中)鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市、鹿児島市教育委員会、鹿児島県体育協会、南日本新聞社

期 日：2007年12月8日(土)

会 場：鹿児島県立鴨池陸上競技場

参加チーム：鹿児島県と他県の第86回高校サッカー選手権大会出場チーム、
 県トレセンユースチーム

試合の種類： 当日 一般 1,000 円 中高生 500 円 小学生・敬老パス持参者無料

(3) 申請団体： 群馬県サッカー協会

大会名： 新春ドリームマッチ群馬 2008

主催： 群馬県サッカー協会

主管： 新春ドリームマッチ 2008 実行委員会

後援： 群馬県、群馬県教育委員会

協賛： プーマジャパン

期日： 2008 年 1 月 12 日(土)

会場： 群馬県立サッカー・ラグビー場

参加チーム： 群馬県出身 J リーガー、ザスパ草津

試合の種類： 前売 スタンド 2,000 円/芝生大人 1,000 円 高校 800 円 小中 300 円

当日 スタンド 2,500 円/芝生大人 1,500 円 高校 1,000 円 小中 500 円

17. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認(更新)の件

(更新)

1. 公認申請者： 専門学校 九州総合スポーツカレッジ (大分県)

施設名： 吉用学園 KSSC 人工芝ピッチ (大分県・宇佐市)

施設所有者： 専門学校 九州総合スポーツカレッジ 理事長 今永妙子

ロングパイル人工芝： ハイブリットターフ (LP-65HP) /SRIハイブリット[®](株)

公認日： 平成 19 年 12 月 16 日～平成 22 年 12 月 15 日

公認番号： 第 5 号

<特記事項>

◆ 公認規程に基づき 1 回の検査 (フィールドテスト) を実施し、
JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。